



ののいち

NONOICHI



主な内容

- 年頭のあいさつ 2
- 子どもと描くまちの未来 6
- 議会だより(視察報告、臨時会) ... 11

庁舎に飾る門松づくり
(12月20日、三納の山田さん宅)



あけましておめでとうございます。
皆さま方にはすがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素より町政の推進に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この新春は、町内のご家庭では、市制の話題が花を添えていることと思います。私も、市制実現の最後の要件である人口5万達成が明らかになる国勢調査の結果を待ち遠しく思いつつ、例年以上に期待感や緊張感を抱きながら新年を迎えております。この国勢調査においては、調査にあたっていた324人の調査員と指導員、そして、温かくご協力いただいた町民各位が、市制実現に向けて心一つになって、取り組んでいただきました。このことを結果以上に何より嬉しくかつ誇らしく思っております。

昨年は、漆芸家の中野孝一さんの重要無形文化財保持者・人間国宝の認定、ジブリ映画「借りぐらしのアリエッティ」の監督となった町出身の米林宏昌さんの活躍など、町の芸術文化で明るい話題が多い年でもありました。

しかし、ご存知のとおり、私たちを取り巻く政治経済の動向は予断を

許さない状況にあります。こうした世相だからこそ、人々が励まし合いながら希望や夢を持つことができるまちづくりが大切だと考えております。町行政は、これまで以上に市制移行、教育、福祉、環境、地域振興など、各々の施策を職員一丸となつて取り組んでまいります。

最後に、昨年は大河ドラマ「龍馬伝」が人気を博しました。この原作の中に出てくる有名な龍馬の座右の銘が、「世に生を得るは、事をなすにあり」。これは「何かをこの世に残すために生きる」と解釈されます。この銘文の『生』を『市制』に置き換え、「世に市制を得るは、事をなすにあり」という言葉にして、「町民のために市になる」という決意を改めて表明するとともに、迎えた新年が皆さまにとりまして、明るく素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は野々市町議会に對して温かいご支援を賜り、まことにありがとうございます。議会を代表して心より感謝申し上げます。

さて、昭和30年4月1日に富奥村との合併を果たし新生野々市町が誕生して56年を迎えました。その当時（昭和30年）の国勢調査は人口5,846人でした。以来、高度経済成長時代をくぐり、近年の世界的経済不況の嵐にもさらされながら、北陸で一番の雄町として発展してまいりました。

いよいよ、五万人市制へと大きく舵を切る予定であります。今後とも、古くから育まれてきた歴史と文化を大切にしながら活気あふれる五万市制に向かって発展を続けていくものと思いつつ、この町を「ふるさと」として愛してください。皆さまがいればこそ町の発展があります。

昨年は、景気の減退など厳しい情勢の中、重要無形文化財保持者として認定を受けられた中野孝一さんや町出身の米林宏昌さんがジブリ作品の映画監督を務められるなど、将来への夢に繋がる出来事も沢山ございました。

更には、単独市制を目指した国勢調査を皆さまの多大なるご協力により終えることができました。市制施行という歴史的事実が町の一ページに刻まれようとしています。これからも、より大きな夢と目標を持って将来のまちづくりを皆さまとともに考えていかなければなりません。

議会といたしましても、社会の変化にしっかりと向き合い、福祉の向上や教育の充実、防犯・防災対策の推進、都市基盤整備の進展などあらゆる問題に取り組んでまいります。そして、住民主体のまちづくりを念頭に議会の活性化に努め、住んでよかったと実感できる市制の実現に議員一同全力を尽くす覚悟であります。

なにとぞ、町民の皆さまの議会活動に對するご理解と尚一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。ともに、皆さまのご健勝と、野々市町の限らない発展を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

野々市町議会議長
西田 治夫

野々市町長
栗 貴章

環境問題は身近な場所から

野々市小学校児童が建設現場で学ぶ

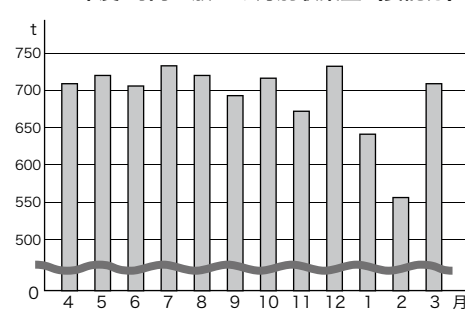
12月2日(木)、学校建設を請け負っている建設会社の社員が講師になって、野々市小学校の5年生が地球温暖化の問題と企業や日常生活の取り組みについて学習しました。

ここ100年で東京の平均気温が3度も上昇し、桜の開花や紅葉の時期が遅れている身近な変化。地球規模での北極や氷河の後退や局地的な豪雨による水害などの画像を、児童は真剣に見ていました。

その後、プールの建設現場を見学し、廃材を資源として再利用するための区分の徹底ぶりに目をみはっていました。地球温暖化の要因は二酸化炭素の増加です。この排出を減らすため、企業は3R（リデュース・リユース・リサイクル）を徹底して取り組んでいます。

町でも町内会と協力し、ごみの分別をすすめ、ごみの削減を図っています。下図のとおり、年末の12月は冬季にもかかわらず、一般ごみの量が増えます。また、1月は衣類や玩具などを購入する機会も増えます。子どもたちが学校で学んだ3Rを家族みんなで取り組みましょう。学習と行動の繰り返しが真の実践力となります。

H21年度 町内一般ごみ月別収集量（委託分）



やってみせ、言って聞かせて、
させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。（山本五十六）

花を与えるのは自然。編んで花環にするのは芸術。（ゲーテ）

美と感動にときめくまち

広報新春特別番組の案内

—放送時間—

金沢ケーブルテレビネットときめきQ
デジタルハイビジョン 009ch

1月1日(土) 7:00～ 7:30
2日(日) 19:00～ 19:30
3日(月) 12:00～ 12:30
4日(火) 19:00～ 19:30
5日(水) 22:00～ 22:30

出演者は右から、多田さん、三國さん、荒木さん、朝倉さん、栗町長、司会の村上アナウンサー



昨年は、秋に清金在住の中野孝一さんの重要無形文化財保持者・人間国宝の認定。夏には粟田出身の米林宏昌さんが監督を務めた映画「借りぐらしのアリエッティ」の公開など、芸術文化の分野で野々市町の名が全国にとどろきました。また、こうした人材を輩出する町の風土を振り返る機会にもなりました。

こうしたことから、新春の町勢特別番組では、サークルや後進の指導にも尽力している音楽家の朝倉あづさんと洋画家の荒木幸子さん、これからさらに活躍が期待される若手の陶芸家の多田幸史さんと作曲家の三國浩平さんの4人と、栗町長とで「芸術文化都市の礎を築く野々市の人々」美と感動にときめくまち」と題した懇談の模様を放映します。出演者は、日ごろの活動の喜びや苦勞、町への期待や思いを語っていました。

この番組を見て、町の芸術の花環の中に入ってみませんか。すでに活動をしている人は、その輪を広げましょう。芸術文化の活動の広がりが、近い将来の5万都市での生活を一層豊かなものにしてくれるでしょう。

映画「武士の家計簿」 “あすなろ保育園児が鯛をそえる”



11月27日(土)に町内の映画館で映画「武士の家計簿」の先行上映会が開かれました。舞台あいさつに先駆け、森田芳光監督、主演の堺雅人さん、仲間由紀恵さんがレッドカーペットに登場しました。

この日、多くのファンと一緒にあすなろ保育園の年長組29人が応援に駆けつけました。その園児たちが手にしていたのは劇中に登場する絵鯛。それを見た3人は、満面の笑みで応え、感嘆の声を上げていました。また、参加した園児は「きれいだった」「かっこよかった」と目を輝かせていました。

映画上映後に行われた舞台あいさつでは、場内を埋めたファンから大きな拍手と熱い声援が送られました。また、栗貴章町長が仲間さんに花束を贈り、労をねぎらいました。

映画には、町にゆかりのある女優・藤井美菜さんが猪山政役で出演しています。親子の絆と家族愛を描いた「武士の家計簿」は公開中です。

昔風景を懐かしむ！

藤井美菜さんが出演

映画「武士の家計簿」で猪山政役を演じた藤井さんは、3歳から6歳まで町に住み、自然にたくさん触れて育った町ゆかりの女性です。今回、映画の中で里帰りをしました。

【芸能界入りのきっかけ】

小学校4年生の時に、新潟に引っ越したのですが、その時に市民ミュージカルのオーディションを受け、合格したのがきっかけです。初舞台は男の子役でした。

【武士の家計簿出演の感想】

初めての時代劇、1つ1つの立ち居振る舞いが現代劇とは違うので、とまどう事が多かったです。



【野々市町の思い出】
家の周りに田んぼがたくさんあったので、よくオタマジャクシを捕まえて行っていました。捕まえたオタマジャクシは家で大事に育てていましたが、手足が生えてカエルになると母が怖がるので、その度田んぼに帰しに行っていました。野々市町は外が広いところが好きでした。

【町民へのメッセージ】

野々市町の皆さん、こんにちは。藤井美菜です。たくさんの方に愛されるような俳優になれれば、と日々奮闘中です。どうぞ応援よろしくお願いします。上京してからなかなか戻れない野々市町ですが、私にとって良い思い出がたくさんある所なので、また遊びに行きたいです。



プロフィール
【ふじい みな】
新潟県出身
(3～6歳まで野々市町に在住)
1988年7月15日生まれ
特技はピアノ
映画「恐怖」主演ほか、テレビドラマ、CMなど幅広く活躍。



中央保育園での調理実習

中央保育園の取り組み

今年から園庭で、子どもたちと野菜作りを始めました。春に保護者に畑を耕してもらって、イチゴやダイコン、ホウレン草などの種や苗を植えました。自分たちが生活するすぐ隣で、日々成長する野菜を見て、「花が咲いたよ」「実が付いたよ」と毎日が発見の連続でした。花が咲くと、ちょうちょや昆虫を目にする機会が多くなりました。



野菜を食べるのは人間だけじゃないと、自然界の仕組みに少し気付いたようでした。

野菜の世話は、地域の人に教えてもらいながら試行

大浦和子園長

錯誤で行いました。勤労感謝の日には、園児たちから「畑のおばあちゃんにありがとって言いたい」と声が上がったことに驚きました。地域の人とのつながりができたのも大きな収穫です。

今年の調理実習では、自分たちが育てたダイコン菜やピーマンなどを使いました。「おいしくなれ、おいしくなれ」と呪文のように唱える園児の姿に食物への思い入れが芽生えているのを感じました。園では、そんな気持ちを各家庭に持ち帰って家族と共有してほしいと思い、収穫した作物を希望する保護者に分けています。子どもだけでなく、保育士や保護者など周りの大人みんな「食」について考えることが大切だと思っています。

正しい知識を持って食品選択ができることも、自らの健康を保持するために必要です。乳幼児健診での知識提供や保

育園、幼稚園、学校、PTAなど様々な機関と協力し合い食生活の改善に努めます。

地域全体で子どもを育む町・野々市。
今年度、子どもに関する2つの推進計画を作りました。
体も心もたっぷりの栄養で満たす町の取り組み。
その概要をお知らせします。
どちらの計画も、町ホームページで全文を見ることができます。

町食育推進計画

町保健センター（☎ 248 - 3511）

食べるといふ、生かるといふ

心身ともに健やかな子どもを育てるために

1 食べることを楽しむことができる

食事が楽しいと思えるためには、生活や食事のリズムが整い、空腹を感じられること、一緒に食べる誰かがいること、また、幼い子どもについては、周囲の大人が年齢に応じた食行動を理解し、それに合わせた対応ができることが必要です。しかし、乳幼児健診や幼児の生活調査などから、当町は県平均と比較すると起床時間がやや遅いこと、朝食の欠食率が高いことが分かります。しかも、子どもだけでなく大人も高いのが現状です。このことから余裕のない時間の中で、子どもだけで食卓についている家庭もあるのではないかと予測されます。

これらのことを各家庭で改善できるよう、保護者が学習

できる機会を充実します。同時に地域ぐるみで育児支援体制を強化します。

2 食べ物を大切にすること

当町はこの20年で田畑の面積が3分の2になりました。商店が身近にあり、食べたい物を手に入れやすい環境にあるものの、作物ができる過程を経験する機会が少ない分、食べ物を大切にする心を育みづらい環境にあるともいえます。そこで、食品の流通や食料自給率について学ぶ機会や農業体験、調理体験を通して食べ物の大切さを実感できるよう、取り組みます。

また、当町は核家族が多いため、家庭内での食文化の継承が難しいと考えられます。現在も地域の有志の協力を得て実施している郷土料理教室などを通じて地域の食文化を

継承していきます。

3 食を通じて自分の体を大切にする

食生活と健康には密接な関係があります。幼少期の食習慣はその後の食習慣を大きく左右するといわれますが、1歳6か月児健診の時点で清涼飲料水や年齢的に不適切と思われる菓子類を日常的に摂取している子どもが約5割を占めています。また、当町の周辺地域では菓子類をはじめ糖質を多く含む食品を多く購入する傾向であることが総務省の家計調査から明らかになっています。糖質を摂り過ぎると将来的な生活習慣病の発症、引いては心疾患や脳血管疾患などの疾病を発症することにもなりかねず、適正量を守って摂取することが必要です。また、食品を購入する際に食品添加物や農薬に関して

自分の食べ物は自分で作るぞ！

御経塚保育園



5月 イモの苗植え



10月 イチゴの苗植え



10月 イモ掘り



子どもが本好きになる6つの方法

1 ブックスタート

“ブックスタート・パック”には、絵本やおすすめ絵本リストなどが入っています。



「活字離れ」にびねる

最近、「活字離れ」という言葉をよく耳にします。読売新聞社が9月に実施した全国世論調査では、1カ月に1冊も本を読まなかった人は52%でした。しかし、文部科学省の調査によると小中学生の約7割が「読書が好き」と答えています。

「読みたい意欲はあるけれど、読みたい本がない」。前述の世論調査では、21%の人が、本を読まなかった理由に挙げています。

そこで、町は「読みたい本がすぐ近くにある」環境を整え、子どもが本好きになる仕掛けを考えました。

自己読書活動の推進

町が9月に策定した「町子ども読書活動推進計画」。

子どもたちが自ら進んで本に親しみ、よりよい読書習慣を身に付けてもらおうと、5カ年計画でさまざまな取り組みを進めています。

みを示しました。

これまでも、家庭教育の指針を示す「ののいち元気家族三か条」（町家庭教育推進協議会）の中で家庭での読書を推奨したり、毎月第1水曜日の「ノーテレビ・ノーゲームデー」（町生徒指導連絡協議会、ののいちっ子を育てる町民会議）で親子のふれあいの一環として読み聞かせを進めたりしてきました。

成長の段階に合わせて

そのほかにも、町では子どもの成長ごとに、本と親しむ場所を用意しています。

【10か月】

1 **ブックスタート**：町保健センターで行われる10か月児健康相談で、ボランティアが「ブックスタート・パック」を手渡しています。

【0～5歳】

2 **えほんBOXハウス**：町キャラクターのつていが描かれたピンク色のワゴン車が町

2

えほんBOXハウス

保護者向けの育児書や弁当作りの本も好評で、親子で利用する姿も見られます。



ます。今後、各家庭をはじめ、いたるところで読み聞かせが行われる町になるよう、ボランティアの人材育成や広報活動を進めていきます。

また、出産前の親向けの子育て講座の中で読書の大切さを伝えていくことや、町立図書館に中高生向けの図書コーナーを作ることなどを計画しています。

町全体で協力し、「読みたい本がすぐ近くにある町」を目指します。

自分が本好きになろう

皆さんがすぐにできることは、家での読み聞かせです。時間の空いたときに、さっと本を開いてみましょう。また、子ど

もが本を読みたいと言ったときに図書館へ連れていくことも手軽にできそうです。何より、自分が本好きになるのが一番の近道かもしれません。

そうなったら、家族みんなと同じ本を読み、感想を語り合う「家読（うちどく）」はいかがでしょう。家族が楽しそうに本を読んでいる姿を見て育った子どもは、きっと本好きになるでしょう。家族の会話も増え、コミュニケーションが活発になり、大人の心も豊かになります。

さらに意欲がある人は、読み聞かせや図書館の活動を手伝うボランティアとして活動してみましよう。

3

図文庫

絵本のラインナップは保育士会で厳選しています。



4

学校と図書館の協力体制

互いの図書の貸し借りを実現するのは、週1回巡回する「学校図書館連絡車」。



5

朝の読書

友達との本の貸し借りで、交流が深まるようすも見られます。



6

読み聞かせ

ボランティアグループ「フレンズ」

読み聞かせ歴10年以上の女性2組「フレンズ」。活動は、広範囲で図書館や保育園、子育て支援センターに老人センターからもひっぱりだこだそうです。

一読み聞かせを始めようと思ったきっかけは何ですか。

坂井 以前から本に関するボランティアには興味があって、大阪で読み聞かせの研修を受けたんです。それで自信がついて、どこかで生かしたいと思いました。

一読み聞かせをしていてどんなときが一番楽しいですか。

橋野 読み聞かせをした子どもに町で会うと声をかけられることです。子どもたちは絵本ばかり見ているかと思っ

たら、読み手の顔や声をしっかり覚えているようです。

一確かに、絵本の内容だけでなく読み手の声や表情も、子どもたちの感性を揺さぶるポイントの1つですね。

橋野 そうですね。0～1歳の子どもも静かにじっと見てくれますよ。言葉の意味は分からなくても、絵や音は分かりますからね。

坂井 「絵本は人生で三度読むべき」と作家の柳田邦男さんは提唱しています。そのときは分からなかった言葉や感情が、大人になって読み返すとすっと入ってくることもある。将来そんな体験を、子どもたちにしてもらいたいです。一絵本は子どもだけのものではないのですね家で読み聞かせをしてみたいな



坂井菅子さん 橋野千恵子さん

という親に向けてアドバイスをお願いします。

橋野 百聞は一見にしかず。一度、読み聞かせに出かけてみましょう。今は、いろんなところで読み聞かせが行われています。それに、読書というと、家の中を思い浮かべますが、読書のために外に出て、本に関するさまざまなイベントに参加してみると、自分も子どもも新たな本の魅力に出会えますよ。

町子ども読書活動推進計画

町立図書館（☎248-8099）



「このカブトムシ庭で見たよ！」
「へえ、どんな大きさだった？」

ひざの上に、わが子の温もりを感じながら
交わす言葉。
優しい時間が流れる。
やがて、この時間の積み重ねが
親子の大切な思い出となる――。

子どもと描くまちの未来

木村志津恵さん、豪太くん親子(御経塚5丁目)

次

男の遼太くんのように、ブックスタートが始まりました。そのときの司書からの言葉が志津恵さんの胸に今でも残っています。『松本は最初から最後まで読まなくてもいいですよ』。それまで、本はストーリーを追って前から順番に読むものだという固定概念にとられていたと言います。『じゃあ1日1ページでもいいか』と気持ち が軽くなりました。今では、ボランティアとしてブックスタートに携わっています。大切な内容は内容ではなく、誰かが自分のために絵本を開いてくれる時間だと話す志津恵さん。「自分のために用意された時間だと分かると、それで愛情が伝わると思います」。

子

育てには周りの協力が不可欠です。町も、今回の計画をはじめ、中学生以下の医療費を無料にしたり、子育て世代の入居を優先する町営住宅を計画したりと、育児環境の充実に努めています。ベテランママによる育児アドバイザーが好評な「家庭教育サポーター事業」など、町民と協働しての取り組みも盛んです。町と皆さんが一緒になって、子どもの未来を描きましょう。まちの未来のために。

議会だより

議会運営委員会視察報告

委員長 田中 昭一

10月18日から20日にかけて、新幹線沿線にあり中核市周辺に位置する福島県会津若松市議会の「地元大学との連携で議会改革」、同県須賀川市議会と、栃木県矢板市議会では「新幹線が及ぼす功罪と議会運営」について行政視察を行いました。

須賀川市議会

「委員会活動と議会広報などについて」

須賀川市は、東北自動車道や東北新幹線、更には福島空港を擁し、高速交通網をフルに利用でき、在来線で2駅の中核都市、郡山市との地理環境もプラスに作用した地域です。平成21年に議員定数特別委員会が設置され9カ月間に及ぶ審議の結果、今の議員定数28人を次の新市設立まで変えないとしました。常任委員会のほか、広報委員会と予算委員会を常任委員会化しています。本会議で特徴的なことは、委員会活動を本会議最終日に報告した上で継続審



「新幹線の影響と議会運営」

矢板市議会

査の議決をしていて、マスコミなどからも一定の評価を得ているとのこと。本会議の議会傍聴が、年間450人から600人を超え、公民館事業や老人会事業とのリンクにより多くの傍聴に繋がりました。議会だよりは定例会開催月の初日に事前告知型として年4回発行され、議会広報に議員の質問状況が掲載されていないことに驚かされました。

「地元大学との連携で議会改革」

会津若松市議会

会津若松市議会は全国的に改革のトップランナーといわれる議会です。平成の大合併で62人のマンモス議会となり地域間のすりあわせが難しい状況から議会倫理条例を検討。後の議長選挙で候補者がそれぞれ政治倫理条例と議会基本条例をマニフェストに掲げ戦い、平成20年6月議会で議会基本条例が満場一致で可決。議会制度を審議する委員会に市民2人が参加したことが思った以上の成果につながったとの説明に、議会改革を核に更なる成長を目指すとする議会の気概を感じました。また、会津若松市と福島大学との相互友好協力協定書には「議会における政策形成及び議会運営に関すること」を盛り込み締結。その後、議会

インターンシップの提案を受け、学生の議会傍聴受け入れなどを試行しました。学生からの厳しい指摘も、すべて報告書にまとめられるそうです。野々市町でも二つの大学と議会をどのように結び生かしていくことができるのか、大学連携について検討する必要を感じました。また、議会は市民要望を政策課題に置き換え執行機関に提言する「政策形成サイクル」も作っています。学生たちが議員から得た「高齢者の自立の仕組み」などさまざまな課題を大学に持ち帰り今後の研究課題とし、議員側も若者の感性や市民の思考を学び新たな政策展開に生かすとのこと。野々市町議会でも、市制施行を目前にして新たに政策形成のためのプロセスづくりが必要であり、この視察を機に議会改革への足がかりを見出したいと思います。

矢板市は、平成5年に地方拠点都市の指定を受け、目標人口を5万人としたこともあるものの、今は3万5千人と減少傾向にあります。理由は東北新幹線の沿線上に位置し東北自動車道矢板インターチェンジを擁していること。都心まで車で2時間、新幹線で1時間の距離が産業振興にはマイナースになったよう。周辺市町との合併も断念したとのこと。議員数は22人から16人に減員し二常任委員会制とし、予算と決算の特別委員会は委員数の見直しを予定しています。一般質問の総括質問は登壇し、再質問以降は自席で一問一答方式。質問時間は答弁をのぞき30分とのこと。矢板市では、新幹線が行財政に及ぼす影響の深さなど、大

議会だより

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
給料の引き下げ、期末・勤勉手当の支給月数の引き下げ
などの改正があった本年8月の人事院勧告に準じ改正を行
う。
(期末・勤勉手当を年間4、15カ月から3、95カ月に
減額する。)
町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例
町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関
する条例の一部を改正する条例

議会活動

11月16日～12月15日

- 11月
 - 16日 町村議会議長全国大会
 - 19日 総務常任委員会 町村議会
議長会議長協議会
 - 22日 産業建設常任委員会
 - 24日 議員総会 市制特別委員会
 - 29日 全員協議会 議会運営委員会
第4回(11月)町議会臨時会
- 12月
 - 1日 意見書等調整会議 議会運営委員会
 - 3日 第5回(12月)町議会定例会開会
 - 6日 議会運営委員会
 - 10日 定例会(一般質問・質疑)

平成22年第4回町議会臨時会が、11月29日に
開かれ、4議案、1議会議案を可決しました。

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部
を改正する条例

町長、副町長、教育長、町議会議員の期末手当を年間3、
1カ月から2、95カ月に減額する。

可決された議会議案

北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃を厳しく非難する決議

入札結果

1,000万円以上(税込み)

- 11月落札分
 - 22日 北部配水区拡張配水管布設工事 第1工区
予定価格 2,562万円
落札価格 2,404万5千円
 - 22日 落札者 (株)中川設備工業
 - 22日 北部配水区拡張配水管布設工事 第2工区
予定価格 2,331万円
落札価格 2,173万5千円
 - 落札者 石川環境設備(株)

えが

描こう みんなの5万都市！



市制について考えてみよう7

町は、市制施行の実現に向けて全力で取り組んでいます。
市制施行は、町の活力と魅力を高めることができる絶好の機会であると考えています。
地域主権が進展する社会情勢の中にあって、市制を施行することは行政基盤の強化だ
けではなく、町から市へ変わることによって都市的なイメージがアップし、住民の市民としての意識高揚
が生まれるとともに、地域経済の活性化や新市のイメージアップによる新たな企業進出や雇用の機会の増
加などの波及効果が期待されます。
また、町よりも市の方が国や県の指導によらず、直接実施できる事務権限が多いことから、これまで以
上にきめ細やかな施策を行うことができるようになります。
これらのことから、市制施行は今後、ますます複雑化、多様化する行政需要に的確に対応し、地域の独
自性を活かしたまちづくりを進めるための最善の方法であると思われます。
市制の施行は、ゴールではありません。市となった後のまちづくりについて町民の皆さんと行政が一体
となって考えていかなければなりません。
今、市制施行によって、町の歴史が大きな節目を迎えようとしています。

昨年8月号から連載してきたこのコラムは今月が最終回です。長い間ご愛読ありがとうございました。これまでのコラムは
町ホームページ (http://www.town.nonoichi.lg.jp/soumukikaku/city_column) で見ることができます。

健康通信



肝臓はタンパク質や糖分、脂肪の
代謝、アルコールや薬物の解毒、胆
汁を作るなど働き者の臓器です。肝
臓に脂肪がついた状態を脂肪肝とい
い、肝臓の働きを妨げてしまいます。
最近では脂肪肝が増えていて3人に
1人は脂肪肝に該当するといわれて
います。脂肪肝と言うとアルコール
の過剰摂取というイメージがありま
すが、飲酒をしない人にも脂肪肝が
増えています。身近になってきてい
る脂肪肝について考えてみましょう。

「夢みる脂肪肝」を 知っていますか？

問い合わせ
◆保健センター
☎ 248・3511

こうしてできる脂肪肝

食事で摂った糖分は肝臓でグリ
コーゲン(糖のかたまり)として貯
蔵します。肝臓のグリコーゲンの最
大貯蔵量は100gで、カロリーに
するとわずか400キロカロリー分
のエネルギーです。従って、それ以
上の余分なエネルギーは脂肪に形を
変えて蓄えます。脂肪は脂肪組織で
貯蔵されますが、肝臓や筋肉でも蓄
えられます。肝臓で脂肪を蓄えられ
たものを脂肪肝といいます。

症状がないから要注意

脂肪肝自体は無症状ですが、メタ
ボリックシンドロームや糖尿病の原
因となり、更に脂肪肝がこれらを悪
化させてしまいます。また、1、2
割程度は肝炎に移行し、進行すると
肝硬変やがんになる場合があります。

脂肪肝は夜つくられる

脂肪肝は肥満と
関係が深いです
が、肥満のない
人にも見られま
す。若い時にや
せていた人や、20歳体重より10kg以
上増えた人は特に注意が必要です。



肝臓で蓄えられたグリコーゲンは
ゆっくり肝臓から引き出して半日分
のエネルギー源として使われます。
しかし、夜間は活動が減り消費エネ
ルギーが少なくなるため、夕食の食
べ過ぎでカロリーオーバーになっ
たり、遅い時間の夕食で寝る時間ま
で消費できない場合には、体内のエ
ネルギーが余るため、寝ている間
に脂肪に変えられ肝臓に蓄えられま
す。これが「夢みる脂肪肝」の正体
です。

また、体にとって「毒」と見なさ
れるアルコールの処理は肝臓の働き
の中で優先されます。アルコール代
謝の間は糖や脂肪などの栄養素の代
謝は後回しになり、処理の順番が来
るまで血液にのって体の中を廻るこ
とになります。過剰な飲酒や夜遅い
飲酒は中性脂肪を高くしたり、脂肪
肝を作る原因になります。

寝る前の我慢で改善へ

脂肪肝は軽い減量でも改善しま
す。体重を5%減らすと改善効果が
出るとい結果が出ています。脂肪
肝の改善により、血糖値を下げるイ
ンスリンホルモンの効きがよくなる
うれしい効果もあります。
ポイントには「軽い空腹感で寝る」
ことです。具体的には、
・就寝3時間前には夕食や飲酒を終
える。
・飲酒も食事量も適量にする。
ことです。

どうしても空腹で眠れないなどの
場合には低カロリーやカロリーのな
い食品を活用するのも一つです。ま
た、仕事などでどうしても帰宅が遅
くなる場合は夕食を弁当にして職場
で食ったり、夕方に6割ぐらいのカ
ロリーを取り、帰宅後は野菜中心の
食事にしてみ
るなど工夫す
ることもでき
ます。「夢みる
脂肪肝」を作
らない生活を
考えてみませ
んか？



たすきでつなぐ、ふるさとへの想い

市町対抗ふるさと駅伝

11月28日(日)、加賀市で市町対抗ふるさと駅伝が行われ、町代表チームも力走しました。

大会は、山中温泉から加賀体育館前までの6区間 27.5キロのコースで、各自治体の代表など 32 チームが参加しました。吉本有沙さん(布水中1年)、中村貴生さん(野々市中2年)、三富真知さん(金沢商業高1年)、塚原将太さん(県立工業高3年)、中川美幸さん(金沢商業高3年)、中小田洋介さん(陸上自衛隊金沢駐屯地)で構成する町代表チームは、1時間36分37秒で完走しました。



新たな気持ちで新年を

年末障子張り

12月5日(日)、町商工会青年部と民生委員の約30人が一人暮らし高齢者宅の障子の張り替えを行いました。毎年恒例となっているこのボランティア活動事業は今年で19回目。今年は、富奥地区の43軒をまわり、破れたり変色した障子を回収しました。朝集められた162枚の障子は、一旦中央公民館に集められ、真っ白な障子紙に張り替えられた後、次々に高齢者宅に届けられました。

←きれいになった障子に、お年寄りも喜んでいました



共に幾千代 名は芳ばしく

野々市じょんから節保存会創立50周年記念式典

「野々市じょんからまつり」で盛んに踊られる、町指定民俗文化財「野々市じょんから踊り」。その保存と継承を行っている「野々市じょんから節保存会」が50周年を迎えました。

12月4日(土)に行われた記念式典では、村上一夫さんと山口正昭さんが、功労を称えて表彰されました。山口さんは「じょんから KIDS」という後継者も育ててきて、これからますます楽しみ」と、さらなる未来へ期待を膨らませていました。式の終わりには、生演奏の囃子をバックに会員約50人で輪踊りを披露し、50年の節目を祝いました。



海を越えて紡がれた絆

ギズボーン市学生友好訪問団が来町

姉妹都市ニュージーランド・ギズボーン市との交流の一環として、12月4日(土)～7日(火)に訪問団が町を訪れました。今回は、ギズボーン市内から120km離れたところにあるナタ・メモリアルカレッジの学生10人が8家庭にホームステイし、ふるさと歴史館や太鼓の里資料館(白山市)などを見学しました。また、明倫高校で柔道・数学の授業や茶道部の活動に参加しました。生徒が折り鶴をプレゼントする場面もあり、直に触れる日本文化に感激していました。

←ギズボーン市からの学生の受け入れは、10回目です。

カメラあちこち

まちの話題、あんなこと、こんなこと。



ワークショップ&クリニック



工大生によるウエルカムコンサート



ジャズの巨匠と世界の“ヒノテル”が野々市に!

BIG APPLE in Nonoichi

16回目を迎えるジャズの祭典「BIG APPLE」が11月28日(日)に金沢工業大学で催されました。今年は、日本が世界に誇るトランペッター日野皓正さんが特別ゲストとして参加。ホストバンドのムーンライトJAZZオーケストラとの共演や11年ぶりの出演となるジャズの巨匠バリー・ハリスさんらとセッションを行いました。例年の会場である文化会館フォルテが改修中のため、特別に設けられた工大のステージ。全国的にも珍しい大学キャンパス内での本格ジャズライブに会場は盛り上がり、約500人の観客は一日限りの音楽に酔いしれました。

出演者らは、26日(金)に布水中学校を訪問したほか、27日(土)には一般向けのワークショップ&クリニックを行い、野々市にジャズの風を吹き込みました。



第二分団の磨かれた技を全国に披露

第22回全国消防操法大会

各都道府県を代表する消防団が、消防技術の速さと正確さを競う全国消防操法大会。今年は、11月12日(金)に愛知県蒲郡市で行われ、県代表として町消防団第二分団が初めて出場しました。会場は、栗町長をはじめ町から駆けつけた応援団や全国から集まった観客の熱気と緊張感に包まれていました。

小型ポンプ操法の部に出場した第二分団は、入賞はなりませんでした。全力で行う操法に大きな歓声が送られました。【出場者】(写真左から)高桑正志さん(栗田)、松本栄八郎さん(末松)、中村一さん(藤平田)、山口和也さん(栗田)

みんなのひろば

掲載ご希望の方は…広報情報課（☎227-6056）

かがやくひとみ

音楽大好き！

ふじひら保育園



「子どもたちに、コンサートを！」
そんな強い思いから、「生演奏」に触れる機会を作っています。

今年は、かねてからの願いだった「アンサンブル☆ふぁみりあ」の皆さん37人に依頼し訪問演奏していただきました。

初めて見るいろんな楽器や音、迫力ある演奏に驚いていた子どもたちでしたが、子どもたちの知っている「童謡」や、「ミッキー・マウス・マーチ」「トトロ・メドレー」などの演奏が始まると、「この歌、知っとる！」と大合唱が始まりました。

また、楽器あてクイズでは、子どもたちはどの楽器を見ても自信たっぷりに「ラッパ！」と答え、笑いを誘っていました。

ほかに、サプライズとして職員との歌「ママの手」や、職員とのフルート演奏もありました。

子どもたちと保護者が音楽を通して楽しいひとときを過ごすことができました。

「アンサンブル☆ふぁみりあ」のメンバーは、ちょうど子育てママたちと同年代。わが子を譜面台の側に座らせたり、おんぶしながらの演奏…。

子育て中とはかく、「忙しいから」「子供がいるから」…と、つい自分に言い訳しがちですが、メンバーの頑張る姿に、「子育ての励みになった！」と感動が伝わったようです。

また、「学生時代、楽器をやっていたので、懐かしかった」との、声も聞かれました。

オススメの本

● 今月のおはなし会

と き 1月8日(土)、22日(土)

11:00 から

ところ 児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。誰でも自由に参加できます。

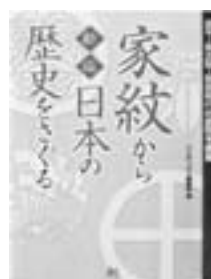
● 子ども向け



『早おきからはじめよう』

はやあさ 鈴木みゆき／著 ほるぷ出版
「早おき・早ね、朝ごはん」が、健康に良いというのはなぜなのでしょう。朝さわやかに目覚め、昼元気に過ごせて、夜ぐっすり眠れる秘けつを紹介します。

● 大人向け



『新版 家紋から日本の歴史をさぐる』

インデックス編集部／編 こま書房
2万を超える種類があり、古くから人々の生活に溶け込んでいる家紋。あの事件のあの武将は、どんな家紋をどのように使っていたのだろうか？多様なデザインに隠された意外な意味とは？

町立図書館

野々市町本町 2-14-6 (☎ 248-8099)

開館時間 10:00 ~ 19:00
(土日は 17:00 まで)

休館日 毎週月・祝日

図書館お役立ち情報：紙芝居の舞台の貸し出しを始めました。地域のおはなし会などでお役立てください。

前期コミュニティカレッジ・コラム「“鵜川いくさ”をめぐって」

6月15日(火)、藤島秀隆金沢工業大学名誉教授による『平家物語』巻第一「鵜川いくさ」をめぐって、富樫家直と白山信仰とをめぐっての報告です。

『平家物語』の巻一には、仏御前や白山宮の神興・国司加賀守師高など、当地加賀にまつわる事柄がいくつも出てくる。その中から、鵜川の軍（いくさ）に焦点を絞って講義いただいた。

彼の西光が子師高と云ふ者が、安元元年（1175）加賀守に除され、国務をおこなふ間非法非例を張行し、神社仏寺、権門勢家の庄領を没倒し、散々の事どもにてありける。

その具体例として、「国府のへんの鵜川と云ふ山寺（白山社の末寺）」を舞台にした数度の小競り合いが述べられている。

この「鵜川のいくさ」で、在国の武士富樫家直が目代近藤師経側につき、涌泉寺の焼き打ちにも加わった（富田景周著「越登賀三州志」）。その出陣に際するエピソードとして、馬塚の伝説があるとする掘麦水著「昔日北華録」にも触れる。

家直は前述の安元二年の鵜川涌泉寺事件で、後に失脚して終身上洛することになったと伝えられている。家直を主人公とする馬塚伝承は、白山衆徒らに伝承され失脚した家直の実像を隠蔽するため、富樫側の後人による増補といえるであろう。との結語で講義は締めくくられた。

スピード給付の **県民共済**

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は
0120-63-5011
☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
〒920-0901 金沢市杉三町2-1-10 真和ビル3F
[共済取扱団体/石川県認可] 石川県民共済生活協同組合
●ホームページからはこちら ●携帯電話からはこちら
石川県民共済 検索

初企画！野々市オリジナル
フレーム切手販売中

80円切手×10枚
1シート1200円
3月までの期間限定販売

お求めはお近くの郵便局で
(野々市町、金沢市、白山市、内灘町、津幡町の全郵便局)
新年は1月4日(火)9時から営業

広告欄



給水車からの水を試飲する栗町長



災害に備え 給水車導入

12月2日(休)、役場前に銀色に輝く一台の車がやってきました。町が導入した給水車です。3千リットルのタンクを備え、大人千人が1日に必要とする水を運ぶことができます。水を運ぶだけでなく地下の水道管に直接繋いで水を送り出すことができるよう、加圧式ポンプを搭載。基本はエンジンによる電力供給ですが、エンジン音に配慮が必要なときには、100V電源から電力を受け稼動できます。

給水車の導入は、町が今年度定めた「町水道ビジョン」による災害など緊急時の対応強化の一環です。町内だけでなく、周辺自治体の緊急時にも出動します。

水は生きるうえで欠かせないもの。どんなときでも「安全・安心・安定」な水を届けられるよう活用していきます。

快適に暮らすためには、町からの情報も欠かせないもの。『広報ののいち』では、大切なお知らせから食卓の話題まで、町のさまざまな情報を今年もお届けします。

本年もどうぞよろしくお願いします。 **広報広聴担当一同**

編集後記

映画「武士の家計簿」に出演中の町ゆかりの藤井さんといきいきののいち人の宮前さんに町の思い出を聞きました。二人とも幼少期に自然と触れ合った話をしてくれました。自分もふと振り返ると、川で遊んだり、魚を採ったりした思い出が浮かんできました。懐かしさを感じると同時に、こういった場所が少しずつ失われていくことに寂しさを感じました。

(中山)

「読み聞かせ」について、図書館で木村さんに話を伺っていると、豪太くんが隣にやって来て絵本をさっと広げました。楽しそうに3、4ページめくると、席を立ててまた次の遊びへ。読書が当たり前の遊びになっている姿に「かっこいいな」と感銘を受けました。

家に帰ってから、いつか読もうと山積みしていた本の一冊をさっと開いてみました。まだまだぎこちないですが、豪太くんのような「読書通」になりたいです。

(瀧澤)

テレビ広報

デジタルハイビジョン009ch
ののいちふれあい通信
8:00～ 8:30
18:00～18:30

ラジオ広報

FM放送 76.3MHz
マイタウンののいち
月～金/ 6:30～ 7:00
11:20～12:00
16:00～17:00

発行 野々市町 (毎月1回発行)
〒921-8510 石川県石川郡野々市町字三納18街区1番
TEL(076)227-6000 (代表)

編集 広報情報課
ホームページアドレス <http://www.town.nonoichi.lg.jp/>
Eメールアドレス info@town.nonoichi.lg.jp
TEL(076)227-6056 (直通)